

令和8年(2026年)度 年間授業計画(シラバス)									
学年	1	学科	全学科	単位	2	教科	国語	科目	言語文化
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新編 言語文化(東京書籍)</li> <li>・新編言語文化 学習課題ノート(東京書籍)</li> <li>・常用漢字ダブルクリア 五訂版(尚文出版)</li> </ul>								
学習目標	<p>(1) 文語表現や訓点について理解を深めることを通じて、我が国の伝統的な言語文化について味わう。</p> <p>(2) 文学的文章や古典作品の読解や鑑賞を通じて、感性を磨くとともに、読解力を習得する。</p> <p>(3) 基本的な語彙力や自分の考えを文章にまとめる力を身に付ける。</p> <p>(4) 我が国の言語文化に関心を持ち、自ら探究する態度を身に付ける。</p>								
単元と学習内容									
1 学 期	古文入門 古文に親しむ 古文学習の道しるべ 児のそら寝 小説1 とんかつ 漢文入門 訓読の基本 故事成語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文を音読することで、そのリズムを体得する。</li> <li>・歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いについて理解する。</li> <li>・口語と文語の共通点や相違点を理解する。</li> <li>・古文で描かれた人々の日常を知り、言語文化について感じ取る。</li> <li>・文学的文章で描かれた登場人物の心情を読み取る。</li> <li>・オノマトペなどの特徴的な表現について理解する。</li> <li>・漢文の構造を理解し、適切に書き下し文が書けるようにする。</li> <li>・故事成語の成り立ちとその逸話を正確に理解する。</li> </ul>							
2 学 期	文学作品の感想レポートの作成 古文 随筆 徒然草 奥山に、猫またといふもの 枕草子 うつくしきもの 漢文 漢詩を味わう 絶句と律詩 小説2 羅生門 詩歌の鑑賞 制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら選んだ文学作品を読んで、その内容をまとめ、感想を適切に書けるようにする。</li> <li>・古文の文章の読解を通じて、現代の生活に相通ずる部分があることを理解する。</li> <li>・古文でよく用いる助動詞について理解する。</li> <li>・漢詩のルールを知り、押韻など美しい表現があることを理解する。</li> <li>・漢詩で詠まれた世界観を理解し、自分なりにイメージを広げ、表現できるようにする。</li> <li>・近代小説を読み取り、登場人物の心情を理解する。</li> <li>・比喩表現や擬人法など文学的文章や詩歌で用いる表現とその効果を理解する。</li> <li>・自分の生活から詩歌を制作して、批評しあう。</li> </ul>							
3 学 期	古文 物語 伊勢物語 芥川 筒井筒 源氏物語に触れる 漢文 論語 諸子百家について 小説3 デューク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまった古文の文章を読むことで、読解力を高める。</li> <li>・古文における和歌の表現について理解する。</li> <li>・『源氏物語』の世界を知り、平安時代の生活を理解する。</li> <li>・諸子百家の思想を、原文を通してより深く理解する。</li> <li>・様々な文章に触れることで我が国の言語文化を深く理解する。</li> </ul>							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕					評価のフィードバック		
							1期末	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界を親しむために作品や文章の歴史的・文化的な背景を理解することができたか。</li> <li>・文語や訓読のきまりや古典特有の表現を理解できたか。</li> <li>・常用漢字を理解することができたか。</li> </ul>					○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の読書体験や生活から表現する題材を探し、工夫して表現することができたか。</li> <li>・古典作品や文学的文章の内容を的確に読み取れたか。</li> </ul>					○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の伝統的な言語文化への理解を深め、古典を進んで学ぶ態度を持てたか。また、さまざまな時代の人々の生き方から自己を見つめることができたか。</li> </ul>					○	○	○
評価方法	②		②			④			
	⑦定期考査 ①副教材 ⑧小テスト ⑨授業で用いたワークシートなど		⑦定期考査 ①読書感想レポートや作品 ⑧副教材 ⑨授業で用いたワークシートなど ⑩小テスト			⑦定期考査 ①副教材 ⑧授業で用いたワークシートなど ⑩小テスト			